

# 身近な物を使った応急手当

—自分の身は自分で守る—

いざという時、助けてくれるのは普段からの**備え**です。

**救急箱**はありますか？ **応急手当**はできますか？

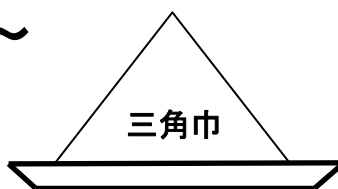
大きな災害が発生した場合、多数のケガ人が発生する恐れがあります。

**消防署も被災**した場合、機能しているか分かりません。

## キズに対する応急手当

三角巾は体のどの部分でも使えます。  
三角巾はキズの大きさにとらわれず使えます。  
キズ口に清潔なガーゼを当て感染を防ぎます。

～頭～



(1) 三角巾の基底を 3～5 cm 外側に折り返す。

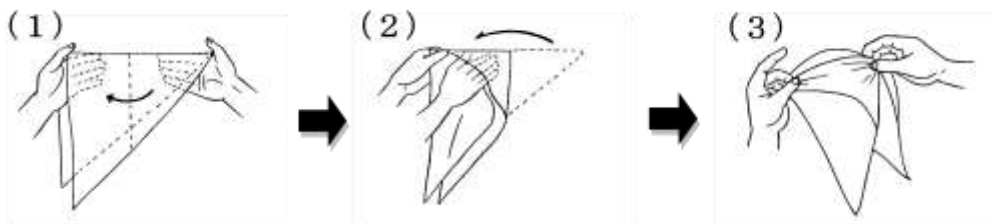


(2) 折り返した部分の中央部を額に当て、耳の後ろで絞り込む。

(3) 後頭部より下で両端を交差させ、額で結ぶ。

(4) 後頭部の三角巾を広げて平らに折って挟み込む。

## ～八つ折りたたみ三角巾の作り方～



(1) 三角巾を図のように持ち、手前にたたむ。

(2) 右手を手前1枚目と2枚目の間に入れ、折り目の頂点部をつまむ。

(3) 外側に返して二つ折りのたたみ三角巾を作成する。

※上記内容を2回繰り返すと四つ折り、3回繰り返すと八つ折りたたみ三角巾の完成！

## ～肘・膝～



- (1) 八つ折りたたみ三角巾を準備する。  
たたみ三角巾の中央部を肘の外側に当てる。  
両端を肘（膝）の内側で交差させます。  
(注) 膝は、四つ折りたたみ三角巾にして使用します。

- (2) 交差した三角巾の下になっている輪の両端を押さえるようにしながら、それぞれ一巻きし肘（膝）の内側に両端を持って来ます。



- (3) 肘（膝）の内側で結ぶ。



もし三角巾やガーゼがなかったら・・・どうしますか？  
ストッキングと清潔なハンカチ、タオルなど身近な物を使います。



- (1) 切らずにそのままパンツ部から被せます。  
うしろで交差させます。



- (2) そのまま足の部分をくるとまわして前で結びます。  
(清潔なガーゼを傷口に当てましょう！)

## ～肘・膝～



- (1) 胴の部分で傷口に当てます。(傷口に清潔なガーゼを当てましょう！)
- (2) 足の部分を広げながら2～3回しっかり巻いていきます。
- (3) 前で結べば出来上がり！

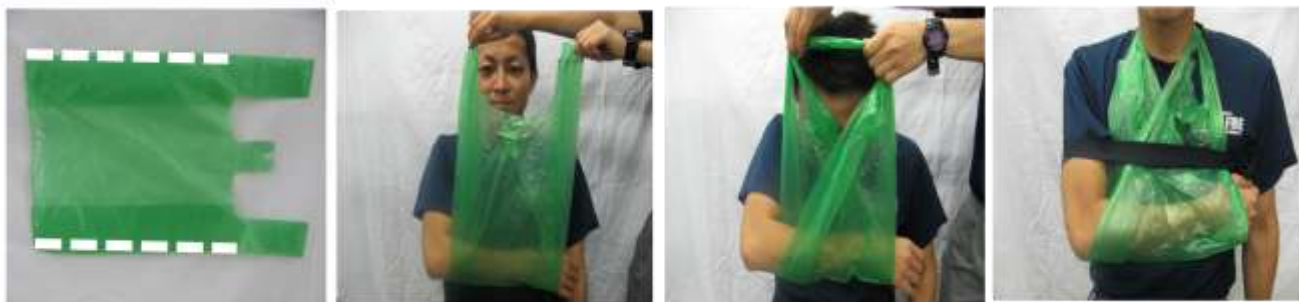


腕も膝と同様な方法で被覆します。

## 骨折に対する応急手当

もし副木や三角巾がなかったら・・・どうしますか？  
雑誌、段ボールを使って固定し、ビニール袋などで吊ります。

## ～腕～



- (1) 点線の部分を切ります。
- (2) 袋の取っ手の部分を被せます。
- (3) ネクタイなどを使ってしっかり固定します。



※布や副木がない！  
シャツのボタンの間に  
入れます。

※ラップを使って固定する方法もあります。

## ～足～



- (1) 傘を両側に当てて、その下にネクタイ（縛れるもので代用可）を4本準備します。
  - (2) 固定する傘は、足の付け根から、かかとまでの長さのものを使ってください。
  - (3) 痛みの激しい場所の上下から結べば出来上がり！
- ※足と傘の間に隙間ができるようであれば、タオルなどで隙間を埋めてください。



※ダンボールを使つての固定  
ダンボールは数回折ります。  
固くしてから骨折部分に当てます。

## 止血の方法



- (1) 傷口を清潔なハンカチやガーゼで覆い、保護します。
- (2) その上から更に少し厚手のハンドタオルなどで覆い、手で圧迫します。
- (3) 感染防止のために血液に触れないようにすることが望ましいです。

予想を超える多くのケガ人が発生した場合・・・備えてあった救急箱が見当たらなかつたら・・・自宅にある**身近な物**を使って、三角巾や包帯、ガーゼなどの代わりに応急手当ができます。

知多中部消防本部